



2024年8月14日

各位

会社名 日機装株式会社  
代表者名 代表取締役社長 甲斐敏彦  
(コード番号 6376 東証プライム)  
問合せ先 執行役員 企画本部長 村上 雅治  
(TEL. 03-3443-3717)

## 新研究棟の建設に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、日機装技術研究所内に新研究棟を建設することを決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 新研究棟建設の目的

当社は、事業基盤の最適化・効率化と各機能の強化を目的として国内拠点の再編に取り組む中で、インダストリアル工場を宮崎へ移転し、工場跡地の一部にメディカル技術センターを建設するなど、全事業の研究開発機能を東村山に集約、拠点機能を生産から研究開発へと変更しました。2023年1月には日機装技術研究所を設立し、事業の垣根を越えた研究・技術開発を行う仕組みづくりをスタートさせています。

しかしながら、もともと生産拠点であった建屋を一部そのままにして研究開発拠点として利用しているため、業務機能と建屋のミスマッチが起きていることに加えて、竣工から50年以上経過した建屋は老朽化し、維持改良費も増加していることから、研究開発に適した環境に整備し、持続可能な研究開発体制を構築するとともに技術のイノベーション創出を図ることを目的として新研究棟を建設することを決定しました。新研究棟を建設するにあたっては、環境に配慮して既存建築の解体を少なくし、一部を新研究棟として使い続ける工夫をしています。

新研究棟では、CAE※を活用しながら、水素、アンモニアなどの次世代エネルギーや、生産自動化、コンポジットなどの研究開発を行います。また、同敷地内のメディカル技術センターと新研究棟を連結し、技術者が互いの知識を共有する場やアイデアをすぐに形とする試作、検証ができる場を設けるなど、技術者同士の交流を支援する環境を整備し、事業部間のコラボレーションを推進します。さらに、当社が持つ技術を発信し、他企業や大学等の研究機関との連携を加速させる場を設け、人材の育成やイノベティブな製品の創出、新しいビジネスモデルの創造に取り組んでまいります。

※CAE (Computer Aided Engineering) とは、トライ&エラーを繰り返していた従来の実験プロセスを、コンピュータ上でのシミュレーションに置き換える技術のこと。

#### 2. 新研究棟の概要

(1) 名称	未定
(2) 所在地	東京都東村山市野口町 2-16-2
(3) 建築面積	約 4,500m <sup>2</sup>

(4) 延床面積	約 9,900m <sup>2</sup> (うち既存床面積約 5,180 m <sup>2</sup> 、新築床面積約 4,720 m <sup>2</sup> ) 地下1階、地上3階建て
(5) 投資総額	約 124 億円 (予定)
(6) 資金計画	自己資金 (予定)

### 3. 今後の予定

(1) 解体工事開始	2024年9月
(2) 解体工事終了	2025年7月 (予定)
(3) 建設工事着工	2025年10月 (予定)
(4) 竣工	2027年5月 (予定)
(5) 稼働開始	2027年6月 (予定)

### 4. 業績に与える影響

本件は2027年6月に稼働開始を予定しており、当期連結業績への影響は軽微であります。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示します。

(ご参考)



新研究棟外観イメージ

(ご参考)

拠点別機能の概要

		主要機能
東村山	全社	研究開発
静岡	メディカル事業	サービス
金沢	メディカル事業	生産
宮崎	航空宇宙事業 インダストリアル事業	生産
	メディカル事業	研究研修施設
白山	深紫外線 LED 事業	生産、研究開発

以上